

南関町子ども会連合会主催
「なんかん子ども会なかよしキャンプ」

9月13日(土)14日(日)に南関町子ども会連合会(平山会長)は、「なんかん子ども会なかよしキャンプ」を開催しました。

今回は熊本市西区にある「ヤマガラビレッジ」に宿泊しました。1日目は現地に到着後すぐに金峰山への登山にチャレンジしました。苦労して登山した後の頂上の景色は格別でお昼ごはんがより美味しく感じました。夜はカレー作りにチャレンジしました。調理や飯盒でご飯を炊くなど普段しないことをたくさん体験することができました。

子ども会キャンプを通じて、最初は消極的だった子がリーダーシップを取る場面も見られ、自己肯定感が高まった様子が伺えました。活動後、子どもたちからは『来年も参加したい!』という声が多く、楽しみにしている様子が見受けられていました。



生涯学習講座レポート

～見つけに行こう学びのヒント～

「郷土料理教室」の紹介

郷土料理教室は、毎月第3木曜日の午前9時30分から午後0時30分まで、農就センター調理室で行っています。講師は片山カツ子さん(関町)です。今年度は15名の方が受講されていて3班に分かれて調理しています。

メニューは南関町の特産品である南関あげを使った「南関あげ巻き寿司」「南関あげのパリパリサラダ」、熊本県が全国2位の生産量を誇る栗を使った「栗ご飯」など。他にも、熊本県を代表する郷土料理「呉汁」「からし蓮根」、東北地方の郷土菓子「がんつき」などを作りました。季節の野菜や、身近な食材を使った料理、家庭料理も改めて

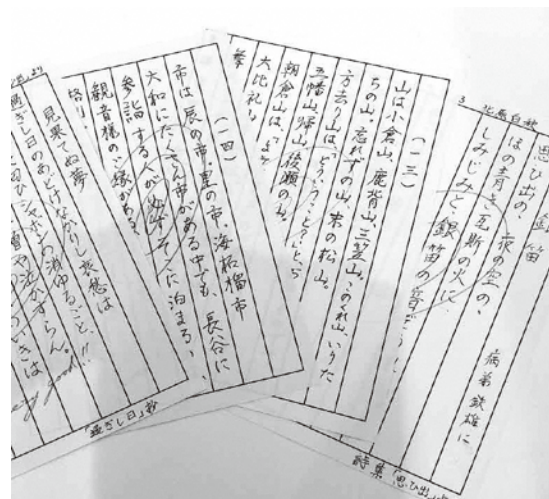


教わるちょっとしたコツでぐっとおいしくなります。出来上がった料理を囲んでお楽しみの試食タイムです。今日の料理の感想を出し合いながら、家で作った料理のこと、趣味のことなどの話も盛り上がり、楽しいランチタイムを過ごしています。料理に興味のある方、食べるのが好きな方、お友達と一緒に郷土料理教室に参加してみませんか？

「ペン字教室」の紹介

ペン字教室は、毎月第4水曜日の午後1時30分から3時まで、農就センターで行われています。講師は太里 耕守さん(関下)で、35名が受講しています。

今年度は、南関町にゆかりのある「北原白秋」の作品と、清少納言により執筆されたと伝わる随筆「枕草子」を題材にして楷書と行書の書体を学んでいます。教室では、今月のお手本と清書用紙が配られ、先生から作品の読み方と、ことばの意味を教えてくださいました。みんなで声を出して一読し、さあスタート。みなさん真剣で私語一つなく、集中して取り組まれています。最後に名前を書く時には先生から一人ずつ書いていただいた手本を横に並べて仕上げます。静かに集中して取り組む約1時間、最後にできた作品を提出します。作品は大里さんが赤ペンで添削して、次回の教室で返されます。◎と「good」がもらえたらとても嬉しくてやる気につながります。年に一度は、南関町文化祭の展示部門にも出展しています。ボールペン1本準備があれば、始められる講座です。文学に触れる機会と静かに心を落ち着けて取り組む時間、あなたもペン字教室に参加しませんか？



新年から読みたい！ 図書館スタッフのおすすめ本

あけましておめでとうございます。昨年はみなさんのおかげで、新しい図書館『南関町図書館<このみ ch-i>』を無事にオープンすることができました。

みなさんにとって今年がよい1年になることを図書館スタッフ一同願っています。今年最初のおすすめ本も、ぜひ当館へ借りに来てください。

生きていることを 楽しんで ターシャ・テューダーの言葉 特別編

ターシャ・テューダー/著
メディアファクトリー

【選んだ人のひとこと】

この本は、とてもステキな文・写真・絵の魅力が詰まっている一冊です。

お茶やコーヒーを片手に、一息つきながらゆったりと読んでもらいたい一冊です。



バムとケロのさむいあさ

島田ゆか/作・絵 文溪堂

【選んだ人のひとこと】

寒い日に気持ちがほっこりする絵本です。かわいい小さな仲間たちを見つけたり、子どもも大人も一緒に楽しめますよ！

最後までしっかり読んでくださいね♡



あと少し、もう少し

瀬尾まいこ/著 講談社

【選んだ人のひとこと】

新年の風物詩ともいえる駅伝を通して、「あと一歩」を踏み出す勇気をもらえる、まさに新年のスタートにぴったりの一冊です！



こたつ

麻生知子/作 福音館書店

【選んだ人のひとこと】

ある家のこたつを真上から定点観測して描いたユニークな絵本です。

家族の会話を聞いて「そうそう!」と思わず言いたくなりました。

家族みんなでこたつを囲むっていいなあと思える本です。

